

# 14 風越・塩沢湖周辺

明治期の西洋館や文学者の別荘など軽井沢の文化遺産、美術にふれられる

**手軽なウォーキング**

**歩行時間 1時間20分**

**歩行距離 3.7km**



▲ 軽井沢タリアセンの中にある塩沢湖。浅間山もよく見える



塩沢湖周辺は、美術館や文学館など文化施設が多く、近くには運動公園もあり、多彩なエリアとなっている。軽井沢タリアセン(有料)は塩沢湖を中心に、遊歩道やイングリッシュローズガーデンなど整備され、見どころたくさんの施設である。

軽井沢タリアセン(有料)中央ゲート①から園内に入ったら、塩沢湖を反時計回りに一周しよう。最初の睡鳩荘[旧朝吹山荘]は昭和6年にW.M.ヴォーリズの設計により建てられ、フランス文学者の朝吹登水子の別荘を移築したもの。深沢紅子・野の花美術館は明治44年(1911)建築の旧軽井沢郵便局を移築。ペイネ美術館は建築家A・レーモンドが昭和初期に建てたアトリエ兼別荘を移築した。最後の軽井沢高原文庫②には文学者らの別荘が移築されている。

風越公園入口③の公園には、自生種を中心とした軽井沢町植物園、通年型カーリング施設の軽井沢アイスパーク、長野オリンピックカーリング会場として使用された軽井沢風越公園アイスアリーナ、1周400mの軽井沢風越公園スケートリンク、温水プールのスカップ軽井沢、風越公園総合体育館などがある。

**アドバイス** 見どころがたくさんあるので余裕ある行程で歩きたい。中軽井沢駅から徒歩で軽井沢タリアセン中央ゲートまで約1時間(15軽井沢南地区コース参照)。